

6月2日の午後2時前後から質問に立ちます。  
質問要旨は次のとおりです。

これまで何度も質問し、ずっと提言し続けてきたことばかりですし、今回の震災でも、必須の対策であることがハッキリしています。市長の積極的な答弁を期待するところです。

- 1) 海岸堤防は、合併によって、従前の13.7kmから61.8kmと4倍になった。津波に対する堤防の備えは、2~2.5m対応と大きく、そうか。
- 2) 海岸堤防の整備状況、強化工事の計画はどのようか。完了予定はいつか。進捗状況はどのようか。
- 3) 市が管理する海岸・港湾部分14.7kmについての津波、高潮対策は十分か。
- 4) 「津波浸水予測」では、どのように避難場所を設置しているのか。見直すべき点はどのようか。
- 5) 災害時における本庁と消防本部、各支所との間の通信網は十分か。衛星電話等の配備をするべきではないのか。
- 6) 気象庁・国土交通省や県のインターネットでの災害時情報、特にiモード情報などはもっと市民に周知をはかるべきではないのか。
- 7) 飲料水兼用耐震性貯水槽は、現在、旧3町には1基も設置されていない。早急に設置していくべきではないか。
- 8) 旧西尾市においても、現行の中学校区に1基ずつでは到底必要量をまかなうことはできない。市役所、市民病院はじめ市の主要施設には設置すべきではないのか。
- 9) 現在、設置済みの飲料水兼用貯水槽、また、新たに設置するものについても、液状化現象に耐えられるよう土壌調査・改良を行うべきと思うがどうか。
- 10) 災害時のトイレについては、仮設・簡易トイレとも十分とはいえない。さらに備蓄を増やすとともに、新市の各避難所には、便槽を設けたマンホール形式のトイレを設置しておくべきではないか。
- 11) 各避難所の備蓄食料については、食物アレルギーに対応したものも増やすべきと思うがどうか。どのような見直し、補強策を考えているのか。
- 12) 要介護の高齢者や障害者に対応する福祉避難所を市立看護学校に設置するというが、どのようか、その内容如何。その外にも福祉避難所は設けないのか。
- 13) 防災訓練では、従前のように避難所に集合する形態だけではなく、町内で震災が発生した場合に住民がどう対応するかを考える「発生対応型」を行っていくべきではないか。

14) 避難所の管理や運営方法については、あらかじめ、地域住民も参画し情報を共有していくことを考えないか。

15) 「自分の身は自分で守る」という意識を育てるには、防災教育をさらに充実する必要があると思うが、現在の状況はどうか。  
また今後については、どのような構想をもっているか。